

## 学校と経営者の交流活動推進委員会

## 八丈島の小中高生に出張授業

学校と経営者の交流活動推進委員会は2月29日、日色保委員長以下9人で八丈島を訪問、出張授業を行った。会場となったのは八丈町立富士中学校。小・中・高生136人が九つのグループに分かれ、経営者と対話しながら受講した。また、一部保護者も見学した。



日色委員長による授業

今回の出張授業は、主体性・コミュニケーション能力育成の観点から「自分自身の『未来を切り拓く』ための職業観を養い、キャリア形成に必要な要素を学ぶこと」を目的とした。また保護者には、経営者から児童・生徒へのメッセージ、児童・生徒・経営者の対話を直接見て、聞くことを通じ、家庭内で子どもたちをサポートしていく上での一助としてもらうこととした。

参加者は八丈町立三根小学校から5年生24人・6年生25人、八丈町立富士中学校から1年生24人・2年生26人・3年生27人、東京都立八丈高等学校から3年生10人が参加した。受講クラスは小学生を4グループ、中学生を5グループに分け、そこに高校生が一人ずつオブザーバーとして加わる形で9グループとし、当会の会員がそれぞれのクラスを受け持つ形で実施された。

授業は全体を約2時間とし、前半・後

半の2部構成で進行した。前半は講話とディスカッションで構成、小学5・6年生のテーマは「中学生時代に学んでほしいこと」「仕事の意義・楽しさ・厳しさ」「会社とはどんなところか」「ものづくりの素晴らしさ」とした。また中学生のテーマは、後日に学校のプログラムとしての職場体験が予定されている1年生が「仕事の意義」、2年生が「社会が求める人材、中学生として今

やるべきこと」、そして進路選択を控える3年生は「これからの日本社会が求める人材」とした。

後半では体育館に全体集合し、前半パートの感想の発表と共有、質疑が行われた。

今回の訪問ではこの他、八丈町役場に山下奉也町長、佐藤誠教育委員会教育長を表敬訪問、また八丈高校の視察も行った。

## 学校と経営者の交流活動推進委員会 参加メンバー

※所属・役職は実施時

日色 保 委員長	日本マクドナルドホールディングス 取締役社長兼CEO
加藤 慎章 副委員長	ETSホールディングス 取締役社長
齋藤 勝己 副委員長	東京個別指導学院 取締役会長
桜井 伝治 副委員長	日本情報通信 取締役社長
白井久美子 副委員長	ユニアデックス 常務執行役員
新倉恵里子 副委員長	東和エンジニアリング 取締役社長
挽野 元 副委員長	アイロボットジャパン 代表執行役員社長
宮原 京子 副委員長	ファイザー 取締役執行役員
渡部 一文 副委員長	SOMPOホールディングス グループCXO 執行役常務



全体で集合し、振り返り



富士中学校、野田校長、辻先生と共に